

5 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録 （ 要 点 ）

日 時	令和 7 年 6 月 12 日（木）午前 10 時 00 分
場 所	庁舎第 3 別館 2 階 会議室
出席委員	教育長 小澤和樹、委員 山本泰正、委員 高橋典子、 委員 竹田美和、委員 野間真美
会議に出席した者の職・氏名	副教育長 越智政徳、教育政策局長 青野光尚 教育大綱推進課主幹 崎山憲一、学校教育課長 井上洋 生涯学習課長 瀬尾孝志、学校給食課長 渡部信一、 教育大綱推進課長補佐 松岡敏一
傍聴人	一般 1 名
議 題	1 4 月教育委員会会議録の承認 2 会議録署名委員の指名 3 教育長報告 4 議題 - 議案第 31 号 令和 7 年度教育費補正予算に係る意見聴取について - 議案第 32 号 財産の取得の意見聴取について（校務用パソコン） - 議案第 33 号 財産の取得の意見聴取について（学習用タブレット端末） - 議案第 34 号 今治市教育支援委員会委員の委嘱について - 議案第 35 号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について - 議案第 36 号 今治市美須賀コミュニティプラザ運営審議会委員の委嘱について - 議案第 37 号 今治市立花カルチャーセンター運営審議会委員の委嘱について - 議案第 38 号 今治市開発総合センター運営審議会委員の委嘱について - その他 1 「今治市の小中学校における学校規模及び学校配置のあり方について」の答申について - その他 2 寄附採納報告について
小澤教育長	午前10時00分、開会を宣す。 日程番号 1、4 月定例教育委員会の会議録を承認してよいか問

—各委員—

う。

承認する。

小澤教育長

日程番号2、会議録の署名委員に、竹田委員、野間委員を指名する。

小澤教育長

日程番号3、教育長報告を行う。

質疑がないか問う。

山本委員

大西小学校へ学校訪問に行った際の資料に、4点の訪問の狙いを書いてあった。当然のことではあるが、きちんと狙いを定めて訪問することが大切なことである。

講評の時に申し上げたが、「知識を得る」「理解する」「応用する」「分析する」「評価する」「創造する」この6段階のことを学年に沿って児童に教えているのかということを見させていだいた。そういった視点で見ると従来の教育と変わってきたと実感した。

大西小学校は60年たっており、相当傷んでいる。今後の建て直しなどその地域でどう展開していくのか、人口の変化も見ながら、子どもの教育環境を考えた上で、計画的に検討していくべきと思う。

小澤教育長

他に質問がないか問う。

野間委員

私は、大三島の小中学校に訪問した。以前、愛媛県とは別のどこかの教員の方が、学校訪問の事前資料作りの仕事量が多く、準備が大変であるという記事を目にした。過去2年訪問したが、細かい内容の資料をいただくこともあった。今回の大三島中学校は、各授業内容についての資料はシンプルだったが、授業内容はそれぞれ工夫がなされており、生徒の立場に立ってとても良い授業が展開されていると思った。その上、学校としての全体的な方針については詳しく書かれてよく理解できた。いろいろな考えがあると思うが、各授業の説明については、資料のフォームを統一するなどしてはどうか。色々記載したいとも思うが、無理のない範囲で見直し、資料作りが担当の先生の負担にならないよう工夫することも大事だと思う。

小澤教育長

他に質問がないか問う。

高橋委員	野間委員に確認したいが、授業の狙いについてだろうか。
野間委員	教室やどの先生か、から始まりテーマや狙いについてなど、たくさん情報が書かれている。準備する担当の先生が大変だとの記事を目にした。
高橋委員	ねらいについては学校によって違うかもしれないが、私が見てきたので多かったのが、このようなねらいで、そのためにこうするというような大体2～3行程度だった。ねらいだけだとどういった工夫をするのかわかりづらいことがある。
野間委員	2～3行だったら、いいと思う。学校によっては、10行ぐらいの場合もあったので、負担になると思った。
高橋委員	それであれば、私も同意見だ。 手だてを一文で簡潔に書いてもらい、2～3行に収めたらいいと思う。
野間委員	分量が多くないといけないと考えられる先生が多いように思えたので、発言した。
小澤教育長	他に質問がないか問う。
高橋委員	5月19日に岡村小・関前中学校を訪問した。 学校教育目標が、「ふるさと関前を愛し、主体的に学ぶ児童・生徒の育成」ということで、児童生徒8名が、瞳を輝かせ、学ぶ喜びにあふれた学校生活を送っていた。小規模校ではあるが、まさに教育の原点であり、素晴らしいと感じた。 子どもたちは、昼休みに先生と一緒に遊んでいた。当日は誘いに来て、井上学校教育課長や指導主事もいっしょにサッカーで汗を流していた。教育大綱の基本理念である「子どもが真ん中で輝くやさしいまち “今治”」を具現化していると感じた。 授業についてもアナログとデジタルのベストミックスということで、電子黒板を活用しながらも、鉛筆の持ち方とか、ノート指導が素晴らしかった。複式で4年生と6年生の授業だったが、自分の考えを持っていて、考える力の育成に注力していると感じた。 一番の課題は、来年度、児童生徒数は変わらないが、小学校が

	1 学級減となるので、先生の数が減ることになる。教頭や事務職員がいない中、業務量は他校と一緒にあり先生の負担となるので、ある程度の教職員数は必要だと考える。児童生徒数増に向けて大三島で行われているデュアルスクールを関前にも広げていただいて、移住につなげてほしい。
小澤教育長	他に質問がないか問う。
竹田委員	5月30日に桜井中学校へ訪問した。学校訪問の時はお客様扱いで、控室が校長室になっており、休み時間にはコーヒーやお茶を出してくれる。今回の桜井中学校は、控室が家庭科室で、ペットボトルのお茶と自分でコーヒーを入れるようになっていたが、それで十分だと思う。接待だと先生や事務員が対応するので、気を使う必要はないと思う。今後、気を使わないように各学校に伝えてほしい。 サポートルームですが、今年度、全席を壁に向かって座るようにし、それぞれパーテーションで区切っていた。先生たちが考えての配置だと思う。しかし、最初の学校に行きにくい生徒が来た時には安心すると思うが、慣れてきたらパーテーションを1枚除いてみたり、机を真ん中に持っていくなど段階に応じて、生徒と話し合いながら進めてほしい。 先生に報告しているが、桜井中学校の音楽室に上がる階段のところで、滑り止めが1枚外れていたなので、早急に直してほしい。
小澤教育長	<議題審議> 「議案第31号 令和7年度教育費補正予算に係る意見聴取について」説明を求める。
青野教育政策局長	—「議案第31号 令和7年度教育費補正予算に係る意見聴取について」説明—
小澤教育長	質問がないか問う。 なし
小澤教育長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。

小澤教育長	「議案第32号 財産の取得の意見聴収について（校務用パソコン）」「議案第33号 財産の取得の意見聴収について（学習用タブレット）」説明を求める。
岐山教育大綱推進課主幹	—「議案第32号 財産の取得の意見聴収について（校務用パソコン）」「議案第33号 財産の取得の意見聴収について（学習用タブレット）」説明—
小澤教育長	質疑はないか問う。
	なし。
小澤教育長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
小澤教育長	「議案第34号 今治市教育支援委員会委員の委嘱について」説明を求める。
井上学校教育課長	—「議案第34号 今治市教育支援委員会委員の委嘱について」説明—
小澤教育長	質疑はないか問う。
	なし。
小澤教育長	承認してよいか問う。
—各委員—	承認する。
小澤教育長	「議案第35号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」「議案第36号 今治市美須賀コミュニティプラザ運営審議会委員の委嘱について」「議案第37号 今治市立花カルチャーセンター運営審議会委員の委嘱について」「議案第38号 今治市開発総合センター運営審議会委員の委嘱について」説明を求める。
瀬尾生涯学習課長	—「議案第35号 今治市公民館運営審議会委員の委嘱について」「議案第36号 今治市美須賀コミュニティプラザ運営審議会委員の委嘱について」「議案第37号 今治市立花カルチャーセンタ

一運営審議会委員の委嘱について」「議案第38号 今治市開発総合センター運営審議会委員の委嘱について」説明一

小澤教育長

質疑はないか問う。

なし。

小澤教育長

承認してよいか問う。

一各委員一

承認する。

小澤教育長

「その他 1 「小中学校における学校規模及び学校配置のあり方について」の答申について」説明を求める。

岐山教育大綱推進課主幹

一「その他 1 「小中学校における学校規模及び学校配置のあり方について」の答申について」説明一

小澤教育長

質疑はないか問う。

山本委員

計画を立てて、根拠の数字を集め、専門家の意見を聞いて、まとめられている。

一つ意見として、小中一貫校は、小規模校だけでなく全体にかかわる問題として考えないといけない。小規模校だけで考えると本来の趣旨と違ってくる。そこは気を付けていただきたい。

小澤教育長

今回の6回の審議会では、当初は、学校統合に関して反対のスタンスの方もいたが、皆さんと意見交換する中で、これを機会に子どもたちに魅力的なものとなるように前向きなこととしてとらえることができたという意見をもらった。これを励みとして、統合の対象となった地域の方と意見を交わしながらいいものにしていきたい。

他に質問がないか問う。

山本委員

教育長の意見を聞いての発言になるが、大西小学校を訪問した時に、運動場に草がなかった。聞くと、運動会の前に地域の方から申し出があり、手伝っていただいたとのことだった。コミュニティースクールがよく開催され、地域住民の意見を取り入れているのだろうと考える。意見を交わしながら、共通のテーマ、共通の認識を持てることが大切だと思う。

小澤教育長

他に質問がないか問う。

竹田委員

PTA 役員の立場で意見させてもらおうと学校が統合するにあたっては、その地域が一緒になるということで、その地域に公民館がいくつもあると、PTA として活動しにくい。吹揚小学校ができた時、日吉・城東・今治・美須賀の4つの公民館があり、かなり問題となり話し合いが行われたようだ。その時に携わった方の意見も取り入れて、円滑に PTA 活動ができるようにしてほしい。

高橋委員

吹揚小学校が統合する際に携わったが、統合前はどの学校も PTA が公民館活動に参加して盛り上げていた。1 つになった際に当時の PTA 会長が中心となって、今までと同じような協力ができないことを伝えた。地域から、学校は協力してくれないのかという意見もあったが、実際に PTA 活動をする際に4つの公民館に対して、これまでと同じかわり方は不可能だという意見となり、できる形でのかわり方を考えていこうと話し合いを重ねた。先ほどの教育長の話にあった最初は反対だったが話をする間に変わったというように熟議が必要と考える。吹揚小学校のように丁寧な話し合いをまたお願いする。

小澤教育長

他に質問がないか問う。

野間委員

先日訪問した大三島中学校もスクールバスの利用がほとんどで、学校に向かう道でもバスに乗った生徒とすれ違った。バス通学は大変じゃないかと思ったが、かなり生徒には浸透しており、教室の後ろにはバス時間が張り出してあり、それに合わせて部活も考えられていた。この対象が小学校、特に低学年になると大変になるかもしれないが、安全な登下校ができるというメリットがあると思う。病院に行って遅れるとか、早退するときとかには保護者の協力が必要となるとは聞いているが、いろいろな意見を取り入れて、その地域の中でより良い方法を導入すればいいと思う。

小澤教育長

他に質問がないか問う。

高橋委員

小規模校の魅力化に向けた取り組みの中に④今治版デュアルスクールとあるが、統合対象校以外にもぜひお願いしたい。大三島で行った今治版デュアルスクールについていろいろ広報活動しているが、昨年度、実施した手ごたえを教えてください。

井上学校教育課長	デュアルスクールについてですが、令和6年度は大三島地区で、3家庭5名の児童が、このデュアルスクールを活用して、就学した。実際には区域外就学という制度の活用だが、保護者の方が仕事をする間、大三島小学校に通った。保護者と児童双方の感想も聞いたが、好印象で、県外から来られた保護者や児童からは、第2の故郷みたいだという意見もあった。上浦小学校でも短期間の利用ではあるが、友達もできたなど、すごくいい感想はでているが、今のところ、定住につながった情報はない。現在は今治市全体で受け入れができることをアナウンスしているが、今のところ新しい相談はない。
小澤教育長	高橋委員も知っている上島町でも地域の魅力を発信することや移住者を呼び込むことをされていると思うが、そういったことも参考にしながら今治市に移住者を呼び込めるよう魅力を発信していきたい。
高橋委員	デュアルスクールも先生の負担になると思う。私の考えでは、関前などを含んだ島しょ部に絞って実施してはどうか。全体でするといろいろな学校に申請が出てきて、その都度、慣れていない先生が対応することになる。 今は市内全域でできるんですね。
井上学校教育課長	区域外就学という制度があり、文科省より、そういった場合は、制度を活用するよう通知があった。ただ、教育委員会同士で協議をしたり、学校間で情報共有が必要など大変な煩雑な部分もある。 令和6年度前半は大三島地域でモデル事業を実施したが、拡充できると判断したため、市内全域で受入体制を作っていくことで考えている。
小澤教育長	デュアルスクールは全体ですが、地域と学校が連携して、移住者を呼び込めるよう魅力を発信できるような仕組みとかを作っていくことが大事ではないかと思う。
竹田委員	大三島のデュアルスクールですが、今治市PTA連合会の島しょ部の方に話を聞くと、地元の学校では、なかなか学校にいけない子だったが、大三島にいる間は、毎日楽しそうに学校に通っていたと聞いた。ただ、移住者と地元の方とのトラブルも多く、そういったところが島しょ部の課題ではないかと思う。
高橋委員	市内の中で、大規模校から、島しょ部の学校に通いたいというよ

	うな相談はあるのか。その場合は対応してもらえるのか。
井上学校教育課長	市内の場合は、それぞれの事情によって校区外通学が検討されることになる。学校と保護者と子どもとが意見を十分擦り合わせて、校区外通学が認められる要件を満たすことができれば、島しょ部の学校に通うこともできると考えている。
小澤教育長	部活動による校区の弾力化などもあるが、今後の適正配置を考えていく上で、特認校とか、学校の魅力化やその地域の教育力を生かした取り組みで検討していきたい。
	なし。
小澤教育長	「その他 2 「寄附採納報告について」説明を求める。
崎山教育大綱推進課主幹	—「その他 2 「寄附採納報告について」説明—
小澤教育長	質疑はないか問う。
竹田委員	林野火災の支援金ですが、教育に関すること、使い道は決まっているのか。
崎山教育大綱推進課主幹	教育に資するものの支援金で、使用用途は、今後検討し、適切に対応させていただく。
山本委員	今治にモラロジーという道德の団体があるのか。
崎山教育大綱推進課主幹	今治に 2 か所ある。
小澤教育長	道德を通じての社会貢献や家族きずなエッセイという家族とのかかわりを子どもたちが書いたエッセイ集を出している。
山本委員	道德教育は本当に大切なことです。
小澤教育長	他に質問がないか問う。
	なし。
小澤教育長	午後11時14分、閉会を宣す。